

Contents

- 巻頭言 9年目を迎えた CST の取り組み
- Topic1 第 17 回 福井 CST 合同研修会 (第 13 回 福井 CST 公開セミナー) を開催しました
- Topic2 新設『中級 CST (現職)』のご案内

- Pick Up! 拠点校・CST の活動の様子 (過去の実績)
- 受講者だより 大野市立有終東小学校で出前実験を行いました
- お知らせ 『第 14 回 福井 CST 公開セミナー』開催のご案内 (ほか)

巻頭言 9年目を迎えた CST の取り組み

福井大学教育学部長

石井バークマン麻子

福井 CST 養成拠点構築事業の実施合意書が福井大学、福井県教育委員会、(独)科学技術振興機構との間で締結されたのは、平成 21 年 8 月のことでした。その後現在までの 8 年間に、プログラム修了者数は延べ 60 名を数えます。内訳は初級プログラム修了者 25 名、中級 12 名、上級 23 名であり、60 名のうち現職教員は 45 名、学生は 15 名でした。

本事業は、「次世代を担う若者への理数教育の充実」というテーマのもと、文科省が進めてきた施策の一つですが、福井大学においては地域貢献事業の一つとしても位置付けられ、関係諸機関との連携・協力により、毎年着実に実績を積み重ねてきました。福井県における本事業の特色として、①三段階から構成される養成プログラム、②CST ネットワークの構築と地域拠点の形成、③世代や校種を超えた理論的・実践的知見の交流の 3 点が挙げられると思います。これらの特色は相互に関連しながら機能し、学部生・院生・現職教員それぞれに、教科における専門性の深まりと、世代や校種を超えた同僚性を育んできたと考えます。また、本事業に参画した大学教員にとっては、自身の専門性を小中学校等の授業づくりにどのように繋げ、活かしていくかをチームで考える契機になったと思うのです。

9年目を迎えた CST 事業。これからも、不思議さの解明の醍醐味と学問の奥深さを垣間見る瞬間を子どもたちが体験できるよう、活動を深めていただきたいと願うとともに、校種を超えた理科教育のさらなる連携に大きな期待を寄せています。

Topic1 第 17 回 福井 CST 合同研修会 (第 13 回 福井 CST 公開セミナー) を開催しました

2017.6.16 今回の講師、福井市自然史博物館の梅村氏をご紹介します。

2016 年に福井県では絶滅のおそれのある野生生物のレッドリストとその生息情報をまとめたレッドデータブックを改訂しました。レッドデータブックは県内小中学校にも配布されているようですが、実際にご覧になったことのない先生方も多いと思います。

6 月 16 日に行われた研修会では、県内で絶滅のおそれのある昆虫について紹介するとともに、その普及啓発のために当館が作製した貸出標本キットについて紹介させていただきました。キットの中には、福井県にしか生息しないヤシャゲンゴロウの標本も含まれています。レッドデータブックとともに、このキットが環境学習等の授業に活用され、実際に触れることで一人でも多くの生徒がふるさとの自然に関心を持つきっかけになればと願っています。キットの詳細につきましては、福井市自然史博物館までお問い合わせ下さい。

(福井市自然史博物館
TEL:0776-35-2844)



- | ワンポイントセミナー | 内容 |
|---|----|
| 「レッドデータブックを授業に活用するヒント」福井市自然史博物館 梅村 信哉氏
「中学校理科における『学び合い』の実践について」
上級 CST (武生第三中) 岩本 純一 教諭 | |
| ● 授業ネタ紹介
「スチールウールの燃焼」「植物の吸水実験」 上級 CST (国見中) 菅原 英淑 教諭 | |
| ● 講座受講報告
「福井県の海浜砂を活用した初等教育教材の開発」 中級 CST 補 (M1) 齋藤 恭子
「風船をすり抜ける二酸化炭素」 中級 CST 補 (M1) 西袋 歩 | |

Topic2 新設『中級 CST (現職)』のご案内

今年度より新たな受講者の募集形態「中級 CST (現職)」養成プログラムを策定しました。

受講者の要件:

- (1) 小学校教諭または中学校理科担当教諭であって、新採用後 5 年未満の者
- (2) 勤務時間外を中心とした約 2 年間のプログラムに参加を希望する者
- (3) CST 資格取得の後、中級 CST (福井) として活動する意志がある者であり、数年後の上級 CST を目指す者
- (4) プログラムへの参加に際し、所属機関長の了承が得られる者

拠点校・CSTの活動の様子 (過去の実績)

福井市豊小学校
2016.7.25



「八幡山植物採集会」

参加人数
小学教員9名、保護者6名、児童20名
八幡山ウォッチングクラブで講師を務めてくださっているまちの先生をお迎えし、学校のグラウンド周辺の植物や八幡山に生息している植物について特徴や名前を教えていただきながら、山の散策と植物採集を行った。また、標本の作り方についてもご指導いただいた。

敦賀市立中央小学校
2016.9.3～9/4



「敦賀市小中学校児童生徒理科作品展」
(会場: きらめきみなと館)

小学教 278 作品、中学校 106 作品
参加人数
小学教員16名、中学教員20名、保護者1,500名
夏休みに行った児童生徒の理科研究や理科作品を展示した。同時に、小中学校理科部員や高校、関連機関等による参加体験型ワークショップ、つるがサイエンスグランプリも開催した。

理科授業研究会

小学6年「水溶液の性質とはたらき」
授業者 上級 CST 補

参加人数
小学教員25名、中学教員7名、CST関係者5名
身の回りの水溶液について興味をもち、水溶液を酸性、中性、アルカリ性になかま分けしたりすることを通して、水溶液の性質をとらえることができることをねらいとした授業を行った。



越前市花塚小学校
2016.10.12

「しらべてみよう！
ふくい海」

講師コメント

福井の海について、①海流と季節風により外国の漂着物が見られる。②嶺北と嶺南で海岸の作りが違ふ。③死滅回遊魚が見られる。④海の地形が越前ガニを有名にした。これらについて、講義をしました。
参加者から、「夏休みの自由研究の参考にします。」と興味を持っていただけた反応もありました。(上級 CST)

福井県児童科学館
2016.7.23



受講者だより

福井 CST 地域支援拠点

大野市立有終東小学校で出前実験を行いました

9月23日(土祝)に大野市立有終東小学校からの依頼により、中級 CST 受講者(大学院生)が、3年生を対象に「液体窒素」と「ドライアイス」を使った出前実験を行いました。

拠点担当者コメント(初級 CST)

科学実験では、児童が楽しそうに実験に取り組む姿が見られた。また、ドライアイスや液体窒素そのものに疑問を持つ児童もおり、氷点下の世界に興味を持たせる良いきっかけとなった。

中級 CST 受講者コメント

温度について学習する前の3年生に対して、液体窒素とドライアイスの冷たさを伝えるにはどうすればよいか、試行錯誤しながらの実践でしたが大変勉強になりました。



お知らせ

第14回福井 CST 公開セミナー

(第18回福井 CST 合同研修会)

日時 平成29年11月11日(土) 9:40～12:10

会場 福井大学 総合研究棟 I 13階
(文京キャンパス)

内容 ●講演「平成29年3月公示小・中学校学習指導要領のポイントと今後の理科教育の動向～地球領域を例として～」
大分大学教育学部 教授 三次 徳二 先生
(文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官を併任)

●ポスター・ワークショップ

◇ポスター・ワークショップの申し込み
締切: 10月16日(月) 原稿締切: 10月30日(月) 必着

◇参加の申し込み
締切: 11月7日(火)

参加費無料
当日参加も OK

申し込みに関する詳細は Web サイトをご覧ください

講座情報

12/10 『実験で学ぶ火山のしくみ』 講義 (福井県児童科学館)
2/10 『スノーシューで森の探検!』 実技 (福井県自然保護センター)

●補助金等申請書のご案内

各関係 HP をご確認ください

- ・科学研究費(奨励研究) CST 締切: 平成29年10月30日(月)
- ・(公財)中谷医工計測技術振興財団助成 CST 締切: 平成29年11月30日(木)
- ・下中科学研究助成金 CST 締切: 平成29年12月1日(金)

CST News Report No.21 2017.9.30 発行

編集・発行・印刷 福井大学 CST 企画運営事務局
〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号 ☎ 0776-27-9928
✉ cstfukui@f-edu.u-fukui.ac.jp ☎ http://www.cst-fukui.net/

本事業の一部は「地(知)の拠点整備事業」の支援を受け実施しています